



2021年度

(2022年3月期)

第1四半期

決算報告

NSユニテッド海運株式会社

2021年7月30日

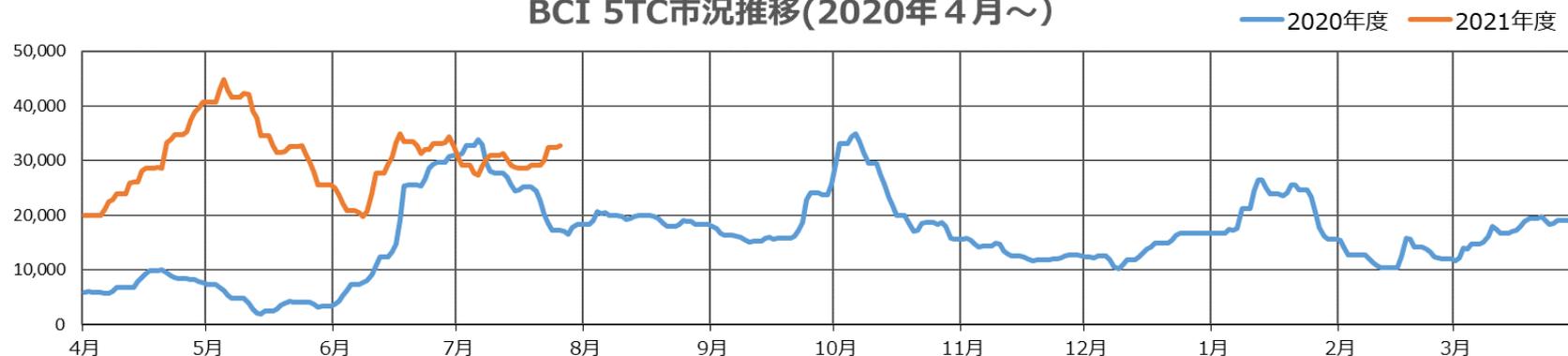
目次

1. 第1四半期決算の概要 p. 2 - 3
2. 2021年度業績見通し p. 4 - 5
3. 活動状況 ～安全運航～ p. 6
4. 活動状況 ～環境保全～ p. 7
(ご参考) 財務アウトルック p. 8

1. 第1四半期決算の概要

【連結】 (単位：億円)	2020年度							2021年度	前年度 同期比
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	
売上高	316	342	657	359	368	727	1,385	428	+ 112
営業利益	1	17	18	25	24	50	67	47	+ 46
外航部門	0	12	12	19	19	38	49	45	+ 45
内航部門	1	5	6	7	5	12	18	2	+ 1
経常利益	▲ 3	10	8	22	26	48	55	41	+ 44
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	8	29	26	6	32	61	36	+ 14

BCI 5TC市況推移(2020年4月～)



1. 第1四半期決算の概要

外航海運 新型コロナウイルスに対するワクチン接種が先進諸国を中心に進むことで、経済活動は回復基調となりました。中国向けを中心とする旺盛な海上貨物輸送需要が、環境保全対応を巡り低下基調にあった新造船供給を上回ることで市況は高水準で推移。営業損益は前年同期比約45億円の増益となりました。

ドライバルク : 中国の粗鋼生産拡大に伴う鉄鋼原料輸送需要や穀物輸送需要の増加に伴い、BDI（バルチック・ドライ・インデックス）が2010年以来11年ぶりの水準まで回復しました。

タンカー : 大型LPGタンカーは、世界経済の回復傾向から5月半ば頃まで上昇傾向にありましたが、その後軟化し、期を通しては概ね横ばいでの推移となりました。

内航海運 国内製造業、建築部門の回復を受けて荷動きが活発化する中、効率的な配船に努め、営業損益は前年同期比で約1億円の増益となりました。

ドライバルク : 国内鉄鋼関連輸送量は原料、鋼材部門共に前年同期比で大幅に増加いたしました。また、電力関連、セメント関連輸送量も前年同期を上回る結果となりました。

タンカー : LPG輸送量は需要減退により減少いたしました。LNG輸送が前年同期を上回り、タンカー事業全体としての輸送量は回復いたしました。

以上により、当第1四半期の連結業績は前年同期比で営業損益では約46億円、経常損益では約44億円、四半期純利益では約14億円の増益となりました。

2.2021年度業績見通し

【連結】 (単位：億円)	2020年度 通期 (実績)	2021年度 (今回予想)			前期比 増減
		上期	下期	通期	
売上高	1,385	800	700	1,500	+115
営業利益	67	105	85	190	+123
経常利益	55	95	80	175	+120
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	80	70	150	+89

	2020年度 通期	2021年度		
		上期見通し	下期見通し	通期
為替	¥106.17	¥109.33	¥110.00	¥109.67
市況 ケープサイズ	\$16,207	\$30,000	\$20,000	\$25,000
パナマックス	\$12,269	\$26,000	\$19,000	\$22,500
スモールハンディ	\$8,813	\$21,000	\$16,000	\$18,500

2.2021年度業績見通し

2010年当社合併以来最高益となる見込み

上期業績の見通し：高水準で推移する市況を前提にフリー船隊による収益拡大を見込みます

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により経済活動が制限された昨年度に対し、ワクチン接種が進むことで世界経済は回復基調を維持し、市況は高水準で推移することが見込まれます。大型船（ケープサイズ）市況では各国経済回復に向けた財政出動が継続することで、粗鋼生産量が増加、鉄鋼原料輸送の増加が期待されます。また、中小型船（パナマックス、ハンディサイズ）市況は底堅い中国の穀物需要を受け、引き続き堅調な推移が期待されます。
- ・ 当社船隊ポートフォリオは2020年度に高コスト船の売却や定期用船契約の期限前解約など、構造改革を実行したことから収益力を強化しており、長期契約による安定収益確保に加え、フリー船隊からは市況上昇による大幅な増収が見込まれます。
- ・ これにより上期の連結業績予想（四半期純利益）は前回2021年4月30日付けで公表いたしました40億円に対し倍増となる80億円へ修正いたします。

下期業績の見通し：総じて堅調な市況が予想されることから前回予想を大幅に上方修正します

- ・ 年内は引き続き好調な市況を見込んでおります。年明けは季節的な要因により軟化が予想されますが、下期も総じて市況は堅調に推移する見込みです。
- ・ これにより下期も前回公表いたしました業績予想を大幅に上方修正したことから、2021年度通期の連結業績予想（当期純利益）は、2010年当社合併以来最高益となる150億円を見込んでいます。

配当予想：配当性向は概ね30%を目途とします

中間配当：一株当たり95円の配当を予想します。

期末配当：現時点では未定です。

3.活動状況 ～安全運航～

NSU TUBARAO「ベストクオリティーシップ 2020」受賞

当社が運航する鉱石専用船 NSU TUBARAOが、日本水先人会連合会が選定する「ベストクオリティーシップ2020」を受賞しました。同賞は、船舶の安全運航と港湾・海洋環境の保護に対する意識を高揚するため、水先人から見た優秀船舶に対する表彰制度として、2003年に創設されたものです。

選定に際しては、安全運航に対する船長・乗組員の意識の高さ、船内における円滑なコミュニケーションと指揮命令系統、水先人への協力体制に加え、航海設備や乗下船設備の状態等が総合的に評価されました。



NSU MILESTONE 6年連続無事故・無災害・無疾病達成

当社では 1 年間を通し、船上での「無事故・無災害・無疾病」を達成した船舶に対し、2014年より社内表彰制度を設けています。制度制定以来、毎年対象船舶には賞状および記念品を授与し、乗組員の安全な航海への感謝を伝えるとともに、船上での安全意識の啓蒙を継続しています。

NSU MILESTONEが 2015 年度より 6 年連続で無事故・無災害・無疾病を達成し、本船乗組員に表彰状と記念品が授与されました。

日頃からの安全運航への尽力について乗組員へ感謝するとともに、より一層の船上における安全意識の向上を目指してまいります。



3.活動状況 ～環境保全～

次世代船用燃料として期待されるアンモニアに関する協議会の立ち上げ

国際海事機関の脱炭素目標に向け、エネルギー・鉱山・電力・化学・ターミナル・海運・造船・製造・船用燃料供給・船級協会など多数の関係者で、次世代船用燃料として期待されるアンモニアの共通課題に関する協議会を立ち上げました。

今後は共通課題を検証の上、アンモニア燃料船の開発とアンモニアのサプライチェーン構築の土台を築き、船用燃料としてアンモニア利用の早期実現を目指します。

<共通課題>

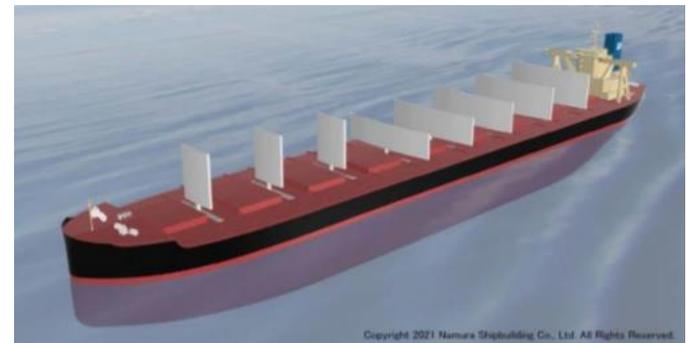
- (1) アンモニア燃料船の安全性評価
- (2) アンモニア燃料供給における安全性評価
- (3) 船用燃料としてのアンモニア仕様
- (4) アンモニア製造におけるネットCO2排出量

帆を利用した風力による低燃費技術の共同研究実施

帆を利用した風力による低燃費技術の開発を目指し、株式会社名村造船所との共同研究を進めてまいります。

<本研究の特長>

- (1) 風力による推進力を得られない場合および荷役を行っている場合等に、帆を甲板下に格納可能な機構を有する。
- (2) 風力による推進力を最大限得るために、帆を幅方向へ展開可能な機構を有する。
- (3) 帆の形状を決定する基準を複数設定し、複数形状の帆を採用することで、海上人命安全条約（SOLAS条約）等にて定められている船橋からの視界を確保することを可能としている。



本船帆走時のイメージ図（対象船型：ケープサイズバルカー）

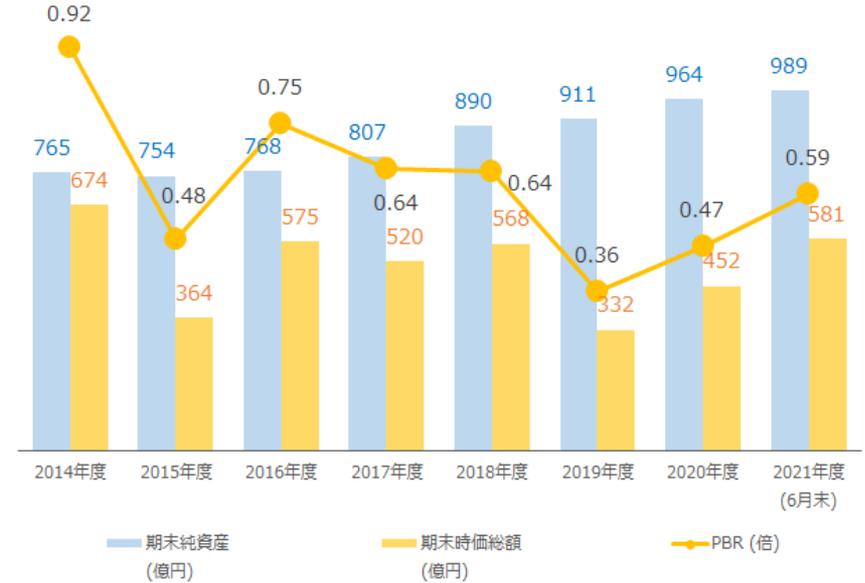
(ご参考) 財務アウトック

当期純利益と期中株価の推移



2021年度
 * 当期純利益は予測値
 * 株価は4 - 6月実績

期末純資産・時価総額

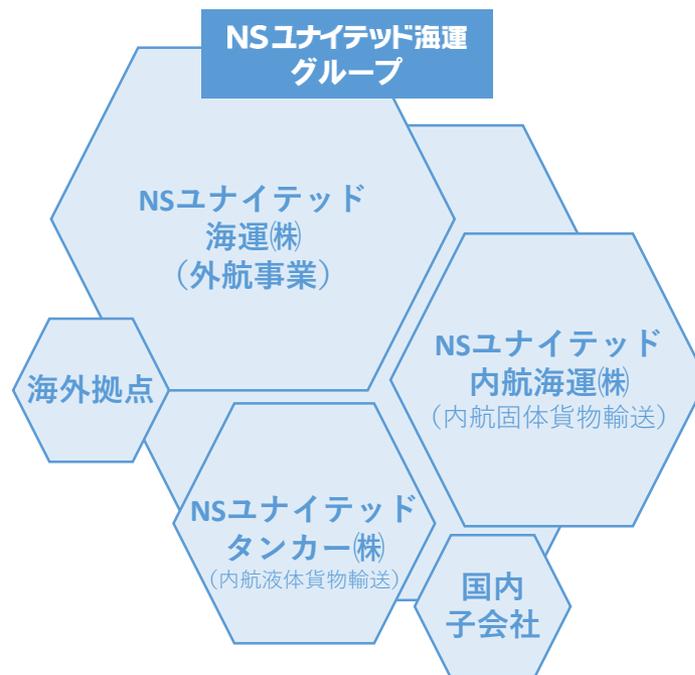


NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<http://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411